



学校図書館サポートキャラクター  
としょえもん

# としょえもん

令和3年度  
第1号

学校図書館サポートセンター広報紙

みんなに知ってほしい！  
世界が広がる学校図書館  
の魅力をお伝えします。

## 「調べる学習ガイド」 を使ってサポートします



八王子市では「調べる学習コンクール」出品作品の内容チェックを学校司書がおこなっています。自分の担当校以外の児童・生徒の作品を見ることができるので、貴重な機会であるのと同時に調べる学習の課題も見えてきます。

特に目立つのは、素晴らしい作品なのに参考文献が書かれていない、とても「もったいない」作品がいくつもあることです。学校司書が実際に授業の中で説明をしても、まとめのレポート用紙を確認すると参考文献が抜けているという事例も多くあります。

### 「これだけは忘れずに！」

まとめながらチェックして確認しよう。

- 1 自分の調べるテーマが伝わるようなオリジナルのタイトルをつけよう。
- 2 説明しやすいように、調べた項目をならべかえて目次をつくらう。
- 3 どうしてこのテーマを選んだのか、その理由を書こう。
- 4 何をどうやって調べたかを書こう。
- 5 調べて分かったことを書こう。
- 6 分かったことに対してどう考えたか、自分の考えを書こう。
- 7 調べるときに使った図書や資料（参考文献）、図書館、訪れた場所を明記しよう。

※参考文献リストを活用しよう。

（『調べる学習ガイド』から抜粋）

参考文献は自分の研究の正しさを裏付けしてくれる役割を担っています。なぜそれが必要なのかを子どもたちにしっかりと伝えていくことが大切だと感じました。

「調べる学習コンクール」の募集要項と応募用紙を一枚の紙に両面印刷し、全校配布をおこないます。誰もが参加できる環境をつくり、今年も多く作品に出合えることを願っています。（I.K.）

**令和3年度 調べる学習コンクール(応募期間9月1日～30日)を開催します。**

詳細は各学校へのお知らせ、および学校図書館サポートセンターHPにて

(市内全小中学生向けのチラシを学校から配布しています)

(©図書館振興財団)





恩方第一小学校では、2019年に「恩一小150選」として選んだ本(おすすめ本)を購入しました。絵本・文学・自然科学などさまざまな本が、各学年およそ30冊、各教室や廊下のコンテナに置かれています。朝や授業中のすきま時間や休み時間に読むことができ、読み途中には、自分のしおりをはさみます。150選やそのシリーズ本を紹介すると直ぐに続きを図書室に借りに来ます。

児童の“おすすめの本”を見ると、150選がよく読まれていることに驚くとともに、年齢に適した本当に良い本を身近に置くことの大切さを実感しています。(N.U.)



(児童によるおすすめ本の紹介カードと学年のおすすめ本棚)

## 校長先生！おすすめの本は何ですか？

### 『春の数えかた』新潮文庫刊 日高敏隆/著 新潮社

国語の教科書の中にいくつも登場する日高敏隆先生のお話。どのお話も昆虫や動物についてのお話で、読み始めるとどんどん引き込まれていきます。



それはどうしてでしょう？そのわけは、日高敏隆先生は、動物行動学を研究された大学の先生で、動物の行動の「なぜ？」を答えがわかるまで考え続けた先生だからです。

その先生が書いた本の一つが『春の数えかた』です。一つ一つが短いお話になっていてとても読みやすいです。特に「どうして虫は夜、電気の下に集まるのか？」という「なぜ？」の答えは感動します。私は「そうだったんだ！」と思わず声を出してしまい、その後虫たちがとても大好きになりました。

低学年の子は、おうちの人に読んでもらってもいいので、ぜひ読んでほしい一冊です。  
(小宮小学校 安藤臣一)

## 6年間のブックリスト 「自ら読むには理由あり！」

恩方第一小学校と宮上小学校の事例から



宮上小学校では、2018年に「宮上小の100冊」を設置しました。最初の2年は、低・中・高学年それぞれにブックリストを作り読書の記録としていました。

2020年からは、100冊すべてを6年間かけて読んでいけるようにリストを作りかえ、本を読むたびに図書館前に掲示された「読書の木」にシールをはることにしました。利用の少ない本は、司書がブックトークで紹介するなど、手に取られるよう工夫しています。

(T.K.)



### 『スマホ脳』新潮新書刊

アンデシュ・ハンセン/著 久山葉子/訳 新潮社

「スティーブ・ジョブズはわが子になぜiPadを触らせなかったのか？」の帯が各所で紹介された話題本なのでご存知の方も多いと思いますが、全ての保護者や教育関係者に必読の書と感じました。コロナ禍で学校のICTも進むなど、スマホなどデジタル機器が大変重要な役割を果たしている一方で、特に若い人を中心に心の不調を訴える人が増えています。この状況の背景を考える材料を脳科学の成果からふんだんに提供してくれます。

では、どうすれば？最終章に示された今後の関わり方としての「デジタル時代のアドバイス」も参考になります。

(宮上中学校 上田 太)



発行：令和3年(2021年)7月10日



八王子市教育委員会教育指導課  
学校図書館サポートセンター

問い合わせ:042-664-1193